

◎ 彙報

第六二回 原爆文学研究会

○日時 二〇二〇年二月一九日(土)

○オンライン

○研究発表

戦後原民喜作品における自然

——人間との関係をめぐって

岡正治試論

——本島等長崎市長との相違点を中心に

○合評会

岡村幸宣『未来へ 原爆の岡丸木美術館学芸員作

業日誌 2011—2016』

書評

柿木 伸之

水溜 真由美

応答 岡村 幸宣

司会 楠田 剛士

後山 剛毅

東村 岳史

第六四回 原爆文学研究会

○日時 二〇二一年九月一八日(土)

○オンライン開催

○「原爆文学」再読8

——大江健三郎『ヒロシマ・ノート』

楠田 剛士 高橋 由貴

○研究発表

俳句における原爆遺構

——長崎・浦上原爆を中心に——

戦後国語教科書における〈原爆文学〉

——中学校用教科書をめぐって——

樫本 由貴

堀本 嘉子

山本 昭宏

第六五回原爆文学研究会

○日時 二〇二一年二月二五日(土)

○会場 福岡大学文系センター棟一五階

第五会議室(対面と遠隔のハイブリッド形式)

○ワークショップ「一九八〇年代の雑誌にみる反原

発思想」

一九八〇年代までの児童文学誌にみる「反原発」

言説の展開と、たつみや章『夜の神話』の登場

『宝島』における反原発思想の展開

運動体としての野草社——『80年代』・『自然生

活』の分析を中心に——

○座談会「原爆文学研究会の20年を振り返る」

川口 隆行 坂口 博

中野 和典 長野 秀樹

高畑 早希

久野 桜希子

加島 正浩

高野 吾朗

畑中 佳恵

第六三回 原爆文学研究会

○日時 二〇二一年五月二日(日)

○オンライン開催

○研究発表

「大和魂」対「フロンティア・スピリット」——清

水春雄の被爆体験とアメリカ文学研究—— 齋藤 一

教科書と「原爆文学」Ⅱ

——林京子「友よ」を中心に——

中野 和典